

大阪の願い国政につなぐ

山下、たつみ、こくた、宮本、大門議員が参加

党大阪府委員会は7月25日、大阪府議団と20市町議員団などから36人が参加し、31項目要求を掲げ、文科、国交、総務、厚労、財務の各省、内閣府と交渉。山下よしき（比例候補）、たつみコータロー（大阪選挙区候補）、大門実紀史の各参院議員、こくた恵二、宮本岳志両衆院議員、清水忠史前衆院議員、わたなべ結国政対策委員長が参加し、市田忠義参院議員が激励あいさつをしました。



●**倍の参加、7回の要求懇談会を実施** 大阪の政府交渉は06年（7自治体）、16年（9自治体）以来。この間では最高の規模です。この交渉に向け、府委員会と国政事務所は3月から縦線を皮切りに大阪市、堺市や旧中選挙区単位で7回の要求懇談会を実施。山下、たつみ両参院議員、国会事務局、近畿ブロック事務所も参加しました。同時に議員団から要求アンケートも行い、大阪全体の要求の結集に努力しました。出された要求は各省別に整理、国会事務局、近畿ブロック事務所と協力し国政要求として練り上げました。

●**北部地震で緊急交渉** この間に大阪北部地震が発生。集約していた要求に、「一部損壊住宅」への公的支援、ブロック塀の撤去・解体への支援の要求などを加え、緊急交渉を12日に実施しました。要望書は府議団、地震被害の大きかった議員団と検討し作成しました。



この交渉で不十分だった問題は24日に宮原たけし府議、たつみ参院議員で独自に交渉（写真右）。国交省は、地震で破損したが屋根に残っている瓦も、落下した瓦と同様、市町村が認めれば災害廃棄物と認めると回答、これによって落下と同様に処理費用の9割が国から補助されることになります。

●**早急にエアコン設置を** 25日の交渉で参加者は現場のリアルな実態を示して、実現を迫りましたが、国側の回答は多くが消極的でした。猛暑のもとでのエアコン設置について「大胆な財政措置を」と要求。文科省は「しっかりと財源確保に努めたい」と答えました。未婚のひとり親を支援する「みなし寡婦控除」について文科省は、保育料などの「みなし」適用や「児童養護施設等の入所施設」については今年度から適用すると発言、財務省は「平成31年度の税制改正にむけて検討させていただく」と発言するなど前向きな回答でした。全体の交渉に続き14項目で個別問題でのレクチャーを実施、国の担当者と詰めたやり取りがされ喜ばれました。

●**国会議席の値打ち、府議団の奮闘を実感** 「国会議員とともに地元で状況を伝える機会を頼もしく感じた」「近畿の国会議員の頼もしさを感じた」。「府議団の奮闘や各自治体の議員のあつい思いにふれて良い経験になった」「各議員のリアルな訴えは凄と思った、自らの議員団を振り返り、もっと住民の中へは行っていかなければと感じた」

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 35(2018.7.29)

政府交渉 滋賀は8月21日、兵庫は9月6日に予定